

IoT実装関連の動向等

【 回答自治体：佐賀県多久市 】

事業名	地域防災システム構築事業（平成 29 年度 総務省地域 IoT 実装推進事業）
実施期間	平成 29 年 10 月～平成 30 年 3 月
概要	<p>1.事業の目的 近年、日本各地で集中豪雨や台風等による大規模かつ広域的な豪雨災害が多発している。また、東日本大震災、熊本地震を契機として震災への意識も高まっている。一方、現状として災害対策に係る情報共有が十分に行き届いていないことや、限られた要員による災害対応の人的リソースの限界などの課題が生じている。 このような地域防災における課題を解決し住民の安心・安全を高めるため、熊本県人吉市において実施された平成 26 年度総務省委託事業「G 空間シティ構築事業」、並びに平成 27 年度「G 空間防災システムと L アラート連携推進事業」において実証・構築された「G 空間地域防災システム」を本市において構築する。 （成功モデルの普及展開、総務省「地域 IoT ロードマップ」の実現に向けた取り組み） <u>前回 WG 会合（6/8）時点では補助事業の申請段階であったが、事業内示により 29 年度で取り組むことが正式決定した。</u></p> <p>2. 事業の効果 ①防災業務支援システムを活用した災害対策本部の意思決定支援、判断の高度化、迅速化が図れる。 ②多種多様な外部システムとの連携による災害対応時の業務効率化と対応状況の累積（アーカイブ）が可能となる。 など「多久市 G 空間地域防災システム」を導入することで地域防災力向上、地域活性化を図るとともに周辺自治体との広域連携による災害対応体制の構築を目指すこととしている。</p> <p>3.事業の具体的な内容 「G 空間地域防災システム」を用いて、IoT 技術を活用した情報収集・把握を行う。さらには避難情報を発令する判断等に必要な情報の集約化により意思決定に資する観点から災害時対応と平常時における業務効率化を支援する。 ①G 空間地域防災システムの構築、②IoT を融合した G 空間地域防災システムの導入</p> <p>4. 事業費の見込み 総事業費（予定額）17,287 千円（うち国庫補助見込み額 16,999 千円）</p>